

SPA122 VoIPでCisco Discover Protocol(CDP)およびLink Layer Discovery Protocol(LLDP)を有効にする

目的

Cisco Discover Protocol(CDP)は、シスコが開発したネットワークプロトコルで、オペレーティングシステムのバージョンやIPアドレスなど、直接接続されている他のシスコ機器に関する情報を共有するために使用します。CDPは、Type Length Values (TLV ; タイプ長さ値) を含むフレームを送信します。TLVは、ポートや接続のさまざまなプロパティを含むフィールドです。

Link Layer Discovery Protocol(LLDP)は、ネットワークデバイスがLAN上のID、機能、ネイバーをアドバタイズするために使用する、インターネットプロトコルスイートのリンク層プロトコルです。LLDPは、ユーザがシスコ独自ではないデバイスとシスコ独自のデバイスの間で作業する必要があるシナリオで使用できます。

この記事では、SPA122 VoIPデバイスでCDPおよびLLDP機能を有効にする方法について説明します。

該当するデバイス

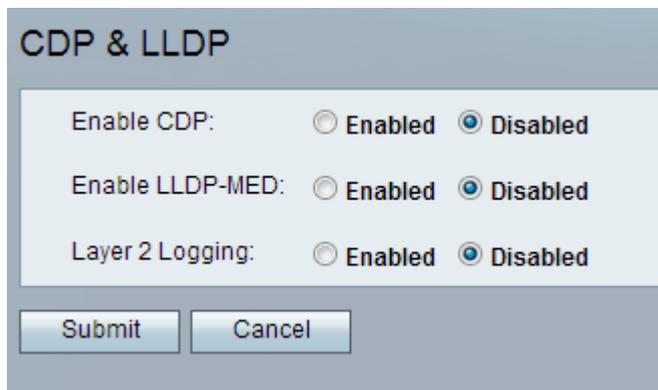
- ・ SPA122

[Software Version]

- ・ v1.1.0

CDPとLLDPを有効にする

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[Network Setup] > [Advanced Settings] > [CDP & LLDP]を選択します。[CDP & LLDP]ページが開きます。



CDP & LLDP	
Enable CDP:	<input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> Disabled
Enable LLDP-MED:	<input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> Disabled
Layer 2 Logging:	<input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> Disabled
<input type="button" value="Submit"/> <input type="button" value="Cancel"/>	

CDP & LLDP

Enable CDP: Enabled Disabled

Enable LLDP-MED: Enabled Disabled

Layer 2 Logging: Enabled Disabled

Submit Cancel

ステップ2:[Enable CDP]フィールドの[Enabled]オプションボタンをクリックして、CDP機能を有効にします。または、必要に応じてこのフィールドを無効にし、ページの残りの機能を設定することもできます。

CDP & LLDP

Enable CDP: Enabled Disabled

Enable LLDP-MED: Enabled Disabled

Layer 2 Logging: Enabled Disabled

Submit Cancel

ステップ3:LLDP-Media Endpoint Discovery(LLDP-MED)は、LLDPがメディアエンドポイントデバイスをサポートできるようにするLLDPの拡張機能です。この機能を有効にするには、[Enable LLDP-MED]フィールドの[Enabled]オプションボタンをクリックします。または、必要に応じてこのフィールドを無効にし、ページの残りの機能を設定することもできます。

CDP & LLDP

Enable CDP: Enabled Disabled

Enable LLDP-MED: Enabled Disabled

Layer 2 Logging: Enabled Disabled

Submit Cancel

ステップ4 : レイヤ2ロギングは、レイヤ2を介して送信されたMACアドレスに関するすべてのデータをログに記録します。デバイスでレイヤ2ロギングを有効にするには、[Enabled]をクリックします。または、必要に応じてこのフィールドを無効にし、ページの残りの機能を設定することもできます。

ステップ 5 : [Submit] をクリックします。変更が設定され、デバイスが更新されます。